

令和3年度

目黒区総合教育会議

第2回会議録

(令和4年2月1日開催)

第2回目黒区総合教育会議会議録

- 1 開催年月日 令和4年2月1日
- 2 開催場所 総合庁舎6階教育委員会室
- 3 出席委員
- | | |
|---------------|-------|
| 目黒区長 | 青木英二 |
| 教育委員会教育長 | 関根義孝 |
| 教育委員会教育長職務代行者 | 笹尾敦夫 |
| 教育委員会委員 | 松村真理子 |
| 教育委員会委員 | 川嶋春奈 |
| 教育委員会委員 | 片山 覚 |
- 4 出席説明者
- | | |
|-----------|-------|
| 企画経営部長 | 高橋和人 |
| 総務部長 | 本橋信也 |
| 文化・スポーツ部長 | 上田広美 |
| 子育て支援部長 | 清水俊哉 |
| 教育次長 | 清谷合祐之 |
| 政策企画課長 | 田中健二 |
| 資産経営課長 | 松本俊史 |
| 教育政策課長 | 濱下正樹 |
| 学校統合推進課長 | 関 真徳 |
| 学校ICT課長 | 今村茂範 |
| 学校運営課長 | 香川知子 |
| 学校施設計画課長 | 岡 英雄 |
| 教育指導課長 | 竹花仁志 |
| 統括指導主事 | 工藤邦彰 |
| 統括指導主事 | 石邑由紀子 |
| 教育支援課長 | 細野博司 |
| 生涯学習課長 | 高山和佳子 |
| 八雲中央図書館長 | 伊藤藤信之 |
- 5 傍聴者 なし
- 6 議題
- (1) 協議事項
- ・「目黒区教育に関する大綱」の改定及び原案について（案）
 - ・区有施設見直し計画の改定素案について
- (2) その他
- 7 会議の結果及び主要な発言
別紙のとおり。

○区長

それでは、定刻となりましたので、令和3年度第2回の総合教育会議を開催させていただきます。

今日から2月ということで、大変寒い中を委員各位におかれましてはご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、併せて本区の教育行政全般にわたりましてお力添えをいただいていることに、区を代表してお礼を申し上げたいと思います。

冒頭、私どもの最も重要な課題となっていますコロナ対策について、また、コロナの状況について少し触れさせていただきたいと思います。

昨日の東京都内の感染者数が1万1,751名という報道がされております。一昨日の目黒区の新規感染者数は399名、これで累計で1万5,005名となり、罹患された方には一日も早い回復をお祈り申し上げたいと思います。

今、保健所には1日300件から400件程度の新たな感染者の届出が出ており業務が逼迫状態になっています。先月27日の東京都の感染症の会議におきましては、2月上旬には東京都の感染者は2万4,000人くらいになるのではないかという試算も出ております。このことから考えると、本区でも1日に大体1,000人くらい新規感染者が発生するという試算になり、保健所は多忙を極めることとなります。併せて職員の中からも感染者が出ている状況でもあります。

こういった状況を踏まえて、先ほどのコロナ本部で業務継続の計画、BCPを目黒区としては初めて発動いたしました。この非常事態にしっかりと備えて、限られた職員で業務を継続をして、区民生活への影響を最小限に食い止めていきたいと思っております。BCPの発動により生まれた一定の職員を今逼迫している保健所の業務に当たってもらい、この状況を乗り越えていく決意であります。学校現場も大変な状況です。教職員の皆さん、そして教育委員会事務局の皆さんにも子どもたちのためにまた一段のお力を発揮していただくようお願いしたいと思います。

ワクチンについて、少しお話を申し上げたいと思います。

私ども目黒区は既に65歳以上のワクチン接種がスタートしております。目黒区医師会に各段のご協力をいただき、厚生労働省の資料では実は目黒区と千代田区が一、二を争う高い接種率になっているところでございます。私ども全ての2回接種をされた方については、6か月経過時点で3回目の接種ができる体制が整えられているところでございます。皆さんのお手元に1月22日に全戸配布した区報が配布されておりますが、その裏面をご覧くださいと、新たに明日から北部地区サービス事務所、碑住区センター、イオンスタイル碑文谷、この3つの接種会場を開設することによって、2回接種された方については6か月経った時点で接種ができる体制ができております。何としてもコロナに打ち勝つという気持ちで対応してまいりますので、また教育委員の皆様にもご協力をお願い申し上げます。

今日の協議の内容については2つございます。1つは「目黒区教育に関する大綱」について、もう一つは「区有施設見直し計画の改定素案」についてご協議いただくことになっております。いずれも区長部局と教育委員会が連携して進めるものであり、特に区有施設の見直しは、見直し対象の床面積の約40%が学校施設ということでございますので、皆様方にそれぞれのお立

場で積極的なご発言をお願い申し上げたいと思います。

それでは、議事に入りたいと思います。

まず、最初に「目黒区教育に関する大綱」の改定及び原案について、事務局から説明をお願いいたします。

(議題 「目黒区教育に関する大綱」の改定及び原案について (案) (協議事項))

○説明者 (資料により説明)

○区長 ありがとうございます。それでは、ご質疑、意見、要望を一括してお受けしたいと思います。

○委員 私ども教育委員にとって非常に重要な大綱を示していただきましたので、内容を読みまして、何点か述べさせていただきたいと思います。

この改定に当たっての基本的方向性の1番頭に出ております区民に対する更なる理解・啓発を自分の考え方の基本に置いて、後の文章について読んでみました。

区民に対する更なる理解ということは、こうした大綱というものを区民の方々が目にして、その中身について素直に読んでいただく。それに対する意見が素直に出てくるような展開をしていくということだろうと思います。

まず、大綱原案の方針1のところですが、これは別な資料のところでは他の区の事例というのが何点か載っておりました。それも読ませていただきますと、私の期待していたところがあります。というのは、方針1の1番頭のところで、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認め」ということの表現ですが、これに関しては他の区の中では、例えば自己実現、それから、自他の尊重、そうした用語が用いられております。そうした難しい言葉に比べますと非常に簡潔に示されているのですが、自分の大切さというものについて多くの区民の方がどのように考えられるのかというところが若干気になる場所があります。この辺については議論の中でもっと深めていっていただけたらということをお願いしたいと思います。

それから、もう一つは、方針2の2点目ですが、これは「G I G Aスクール構想の実現や外国語教育などの充実を図る」ということが、ほかのものに比べますと非常に具体的であるというところが気になった場所があります。その後、「特色ある教育課程に取り組み」ということが述べられているのですが、特色ある教育課程というのは何なのか。これは一つは、小学校の午前5時間制とか、そういった具体的なことなのではないかと考えまして、他の区の方々が具体的な表現を入れていることからすると、特色ある教育課程という一般的な言い方よりは、例えば小学校午前5時間制といったような具体性のある表現を入れれば、G I G Aスクールとか外国語教育と共通の流れになって、目黒区の特色が出せるのではないかと考えました。

それから、最後の方針3のところですが、地域とともに歩む教育環境、これが非常に大きなテーマだろうと思います。私自身も目黒区の住民として、常日頃いろいろなところで感じますが、この「学校・家庭・地域との連携・協力」について、私たちの理解が深まるようないろいろな施策をぜひ提案していただき、実現に向かって私たちも一緒に努力していきたいと思っております。

ぜひご検討のほどをよろしくお願いいたします。以上です。

○区長 今大きく3点ほどお話をいただきました。何かご発言あればお願いいたします。

- 説明者 委員のご意見を踏まえて、今後考えてまいりたいと思います。以上です。
- 区長 ありがとうございます。続きまして、委員、お願いいたします。
- 委員 私も大綱を読ませていただきまして、方針1、2、3いずれも非常に練られていて、内容もよくまとまっていると思いました。
- さらっと読むと本当に最もなこと、ほかに何か付け加えることがあるかどうかという観点から、資料としてお付けいただきました各区の教育大綱に示された主な内容の項目と照らし合わせて検討させていただきました。
- 他区の項目と比較し、目黒区の方針に入っていないものとして、教員の資質、働き方という項目です。いろいろな基本計画やほかの資料には入っているのかもしれませんが、この方針1、2、3では直接触れられていないと思いました。
- また、昨日もちょうど教員の資質の確保ということで、教員不足などがメディアで報道されていまして、これも現代社会にとって、今後5年間ということになりますと大切な要素ではないかと思いました。可能であれば、そこも触れていただければと思いました。具体的の方針1、2、3のどこに入るか考えたところ、教育環境の整備ということで、方針3なのかとも思ったのですが、地域との連携のことが主要なテーマになっているので、なかなか方針1、2、3のどこに入れるのも難しいと思いました。できれば、教員の資質の確保にも触れることをご検討いただければと思います。難しければ、この大綱に盛り込まなくても、今後の教育行政の中でその観点を重視していただければと思いました。
- あともう1点、細かいところですが、昨年10月26日の総合教育会議でも意見として上がっていたということで、2番目の区のイメージアップも含めた更なる学術・文化振興の検討という観点ですが、こちらについては方針2の中で、生涯学習の充実というところで盛り込まれていると思いました。ただ、その表現が方針2の3番目で、「区民一人ひとりが、生涯を通じて、生き生きと学び」「学んだことを地域に生かすことができるよう、様々な学習や交流の機会を得られる地域社会」でまとめられていて、少し無難な表現かと思いました。もう一段、目黒区らしく、学術とか文化振興という表現も盛り込んでいただければ、区のイメージアップになると思いましたので、その点もご検討いただければと思います。以上、感想を述べさせていただきました。
- 区長 感想としてお出しをいただきましたので、よろしくお願ひしたいと思ひます。続きまして、お願ひいたします。
- 委員 私からはA4が1枚になり読みやすくなって何度か読むことができました。3点質問があり、1点目は大綱のレイアウトです。多少文章の変更などはあると思いますが、このレイアウトで完成させる予定なのでしょうか。
- なぜかといいますと、前半部分の大綱の位置付けとか、期間とか、そういったところを読んでいって、ここよりも一番知りたいのは方針なので、方針がぱっと目に飛び込んできて、方針を読んで、ところで大綱って何だろうと思って、また戻って読むような具合がよくて、もうちょっと目に飛び込んでくるような字体とか大きさに工夫ができないかと考えました。
- それと2点目ですが、方針2の3つ目、「区民一人ひとりが、生涯を通じて、生き生きと学び、学び合い、学んだことを地域に生かすことができるよう」というこの文章が、学んだことを地域に生かすことができるようというところまでたどり着く気がしない文章に感じました。例えば、生き生きと学び合い、学んだことを地域に生かすことができるようだと、何かできそうと

いう気になりました。強い思いを感じるんですが、一つくらい減らしてもいいかという感想です。

最後に3点目は、方針3の3つ目です。「あらゆる場面で子どもの権利が尊重され、地域の暖かな見守りの中で」とありますけれども、この地域の暖かというこの漢字は、温度のさんずいのほうの温かいかと思いましたが、これは地域の見守りなので、壮大で、太陽のようなぼかぼか陽気みたいな、そういうイメージのためにこの漢字を使ったのか、お聞きしたいと思います。以上です。

○区長 3つあって、1つはレイアウトの検討ということと、それから、文章表現ということ。3つ目については何かお答えがありますでしょうか。

○説明者 1点目、2点目につきましては、委員のご意見を踏まえて、改めて検討させていただきます。

地域の暖かな見守り、確かに温度の温という考え方もあるのですが、委員、おっしゃったように漢字の使い方は難しく、明確にこれを使わなければいけないということでお示ししたわけではありません。単純に温度で温かいというよりも、地域でぬくもりを感じるという意味合いを今回はこの中に入れていきたいということでこの字を使ったのですが、今回の委員のご意見も踏まえて、改めて考えていきたいと思っております。ありがとうございました。

○区長 よろしいでしょうか。続きましてお願いいたします。

○委員 大綱の方針1から3まで、素晴らしくよくまとまっていると思っております。

なぜかという、裏面の他区の大綱方針が書いてあるのですが、比べてみても訂正する余地はないのではないかと思います。

○区長 ありがとうございます。教育長のほうから何か意見がありましたらお願いいたします。

○教育長 私のほうから、前回の会議で、次期の教育大綱については、教育委員会としての施策の決定に際して十分なよりどころとなつて、かつ過度に縛ることのないものになるようお願い申し上げたわけですが、今回示された原案、総体としてはそれに叶う内容とボリュームだと思います。

それで先ほど委員からもお話がありましたけれども、これは見た目の問題なんです、前文が少し長いという程度の感想は持ちました。概ねこれでよろしいかと思っております。以上です。

○区長 ありがとうございます。それでは、ご意見を踏まえながら進めていきたいと思っておりますし、今後区民の皆さんからパブリックコメント等もいただいて、成文として整理をしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。それでは、「目黒区教育に関する大綱」についての協議を終えます。

続きまして、区有施設見直し計画の改定素案についてを議題といたします。

(議題 区有施設見直し計画の改定素案について(協議事項))

○説明者 (資料により説明)

○区長 ありがとうございます。引き続き各委員からご質疑、意見、要望等を一括してお受けしたいと思います。

○委員 こうした施設計画の見直しという遠大な項目を、非常に簡潔に、しかも私どもに理解しやすいようにまとめていただきまして、大変見応えのある立派な資料だという印象をまず受けました。

その中で私が感じた点は、ハード面の取組とソフト面の取組の兼ね合いの難しさというところがいろいろな場面で出てくるのではないかとということで、何点か気づいたところを述べたいと思います。

一つは、資料1の真ん中辺にあります。「区有施設の延床面積を増やすことなく施設サービスの充実を実現」、これは遠大な目標でありますし、当然目指すべきものではあるのですが、私が理科系の出身で土木の設計を担当してきた経緯からしますと、非常に難しいけれども、やりがいのある仕事と感じました。

延べ床面積を増やすことなくというのは、これはハード面で数値目標が明確に設定できますが、施設サービスの充実というソフト面の目標値というのは非常に数値化しづらい。しかも、状況によっていろいろ変わりやすい、ハード面とソフト面、両方の実現を図っていく仕事というのは難しい問題が出てくるという印象を受けております。

より具体的に以後の計画を進めていくということで、気がついたところですが、この素案の中の例えば35ページ辺りから、後期5年間の具体的な取組で方向性が示されております。年度ごとに矢印が載っており、この期間で実施するということが分かるのですが、達成度を見る上では、もう少し具体的な補足説明が必要になるのではないかと、いわゆる達成度の見える化等をぜひ今後とも検討していただきたいというのが一つの印象であります。

例えば43ページで、貸室といったソフト面での進捗ですが、これも各年度ごとの実施ということで矢印が書かれています。ではこの場合の達成度はどういう形になるのかというのは、もう少し説明はしたほうがいいのではないかと、全体的にそうした印象を持ちましたので、ぜひ検討を進めていただきたいと思います。

それから、これはよくここまで書かれましたねということで感心した点は、53ページにSDGsのことで、最後に脱炭素化ということを取り上げられています。これは非常にタイムリーなことで書かれており、子どもたちにもインパクトのある内容でありますので、より具体性を持った形で検討を進めていただければという印象を持ちました。

素晴らしいものができておりますので、事細かに注文をつけるほどのことはありませんが、より具体的な検討をぜひ進めていただきたいという期待を込めて感想を述べさせていただきました。ありがとうございました。

○区長 ありがとうございます。ご発言がありますでしょうか。

○説明者 これまでこれらの取組に関しましては行革計画の一部としてどのように達成できたかということはお示しをしております。今後につきましてもこの達成度が分かりやすく見ていただけるように努めてまいります。以上です。

○区長 それでは委員、お願いいたします。

○委員 計画を丁寧に練られているのを拝見し、目黒区の高度経済成長時期に建てられた区有施設の維持管理に関する見直しについての労力というのは大変なものだと感じました。

教育委員会では、今日、資料2の素案の中の70ページの中学校4校の統廃合がこの1年間かなり話題に上っておりまして、その進め方についてご質問させていただきます。

中学校4校を2校に統廃合するという計画ですが、これは今後の人口推計に基づいて、統廃合が必要だということで決定されて進めていることだと思います。進め方が丁寧というか、ゆっくり進められていると感じました。人口の推計というのは暫く時間が経つと変わってしまうというリスクもありま

すので、もう少しスピードアップすることはできないのでしょうか。もちろん区の大切な資産ですので、じっくりと慎重に検討してやっていくということや、区民の方の理解を得るということも重要だとは思いますが、出来上がったときに人口推計がまた変わってしまうと困ると思います。スピードアップの工夫ができないものなのかということが1点目です。

あと4校を2校に統廃合するというところで、2校のうちの1校を残すということは決まっていますが、どちらを残すのかということは発表されていません。統廃合のプランの公表があった時点で、どちらを残すかということも併せて公表することはできないのかと思いました。その点を公表しないですと、住民の方もどちらが残るのだろうということで非常に心配されると思いますので、4校を2校にという決定がされた時点で、それを併せて発表することはできないものかと感じました。

○区長

スピードと公表の仕方、どうでしょうか。

○説明者

委員の2点にわたる質問に関しては、私のほうからお答えをさせていただきたいと思います。

まず、スピードアップですけれども、統合方針を12月に改定させていただきました。その方針では令和7年4月に統合新校を開校して、今回建て替えも伴いますので、新校の建て替え整備を含めると令和9年度中に新校舎に移転するという計画になってございます。

令和7年4月に開校時期を決定した大きな要因は、小学校の子どもたちの進路の選択の時期を配慮させていただいています。基本的には今在学中の中学生、ないしは現在6年生である、統合方針を改定する前に学校を選択して中学校に入学されるお子さん、そのお子さんたちが在学中には統合をしない、何も知らずに入学して統合するといったことがない最短の時期が令和7年4月ということで設定をさせていただいている次第になります。

そういった時期を考慮すると、最短のスケジュールで2校同時開校で進めさせていただくという予定になっています。

2点目、新校の場所といったところなんですけど、委員おっしゃるとおり、12月の統合方針では統合の組合せと時期はお示ししておりますが、統合の新校舎の場所は今後4月以降、協議組織を立ち上げて、地域、保護者と一体となってお意見をいただきながら決めていくという方向性を示しています。

ほかの自治体でも、あらかじめ教育委員会が場所を示すという例もありますが、目黒区では、やはり新校の場所というのは新しい地域の学校の基本的な構成要素となりますので、大鳥中学校や目黒中央中学校のときと同様、地域の方、保護者の方と一緒に場所を決めていくことが重要だと考えております。今後協議組織を立ち上げて、次の学校選択、子どもたちが9月までには選択しますので、その時期までにはきちんと決めて情報発信に努めていきたいと考えております。なるべく早く丁寧に進めさせていただきたいと思っております。

○区長

よろしいでしょうか。続きまして、委員、お願いいたします。

○委員

私からは2点ございます。参考資料の例えば61ページから、目黒区防災センター、行政サービス窓口と建物などいろいろなものが出てきますが、所在地が分かるかと思いました。セレモニー目黒はどこにあるのかとか、旧川の資料館、目黒川のことかと思いましたけれども、その所在地が分かるかというのが最初の1点目です。

あと2点目ですけれども、学校施設の複合化を楽しみにしていて、興味を持っています。小学校とか中学校、児童館や住区センター等、老人いこいの

家も含まれますでしょうか、そういったものが一緒になって、そこに通ったりする人たちが自然に挨拶を交わして、自分の家の近くですれ違っても顔見知りだから挨拶もできるという、そういうふうになったらいいと思っています。

○区長 ご発言、いかがでしょうか。

○説明者 所在地につきましては少し分かりやすさを検討させていただきたいと思えます。学校施設の複合化を楽しみにしているということで、我々も頑張りたいたと思います。ここについては、地域のコミュニティの核という位置づけも持っていることから、複合化は考えていくべきだとは思っています。その中でも一つ懸念されるのは、学校教育、教育環境ということで、子どもたちの安全ということから考えると、地域の暖かな目の中で過ごしていただきたいと思うんですが、もう一つはセキュリティも考えなければいけないので、それが適正に図られるよう考えながら検討していきたいと思えます。

○区長 よろしいでしょうか。引き続きまして、委員、お願いいたします。

○委員 児童が少なくなって視聴覚教室とか、空いている教室がいっぱいあると思えます。碑小学校では住区センターを併用したりしているし、学校として施設の使い方というのはあるのですが、空いているスペースをどんどん有効活用できるといいかなと思って資料を拝見させていただきました。以上です。

○区長 よろしいですか。

○説明者 学校の空き教室等ができれば、そこにどのようなものができるかということを考えることもありますが、児童・生徒推計がどのように増えて、減っていくのかという影響があると思えます。減った場合には転用をするという考え方もありますし、今現在では学童保育クラブで活用したり、タイムシェアという考え方もありますので、空き教室については有効な活用について我々も検討していきたいと考えてございます。

○区長 よろしいでしょうか。それでは、教育長のほうからお願いいたします。

○教育長 教育委員会としては、この計画の具体的な取組の中核をなすのが学校施設更新計画であって、それとも連動した南部・西部地区の中学校統合の取組だと捉えております。これらの取組を進めるに当たって、この区有施設見直し計画の考え方、これを常に照らし合わせながら、着実に進めていきたいと考えております。以上です。

○区長 私からも発言をさせていただきますが、この計画の一つの大きな要素は人口推計にあらうかと思えます。先月28日、総務省から日本の自治体の人口の状況が出ました。私ども目黒区は2,737人の転出超過という、私も区長になって18年になるんですが、今まで経験のない状態にあります。これが一過性なのか、コロナ禍の影響なのか、それがもっと続くか、見通しが立ちませんが、今のところ税収も来年度予算は過去最高を計上している形になっていますので、今にわかにはいろいろな計画を修正する必要はないのではないかと思います。また状況によってはこの計画も含めて時点修正はゼロではないということは申し上げておきたいと思えます。また、必要があれば改定等していくということで人口推計については整理をしておきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

それでは、ただいま様々な貴重なご意見等も伺いましたので、こうしたことを踏まえて見直しの改定素案については取り組んでまいりたいと思えます。よろしくお願いいたします。

本日ご用意させていただいた協議事項については全てご協議をいただきま

した。その他、何か各委員からご発言がございましたら、よろしくお願い申し上げます。よろしいでしょうか。

それでは、これで第2回の会議を閉じたいと思いますが、コロナで極めて流動的な状況にありますので、適時適切に本会議を開かせていただくこととなります。よろしくお願いしたいと思います。

これで会議を閉じます。ありがとうございました。

(午前10時24分閉会)